

提案仕様書に係る用語について

(あかし脱炭素経営パワーアップ制度運営業務委託)

提案仕様書の文言を以下のとおり定める。なお、宣言事業者とサポーターの事業者数については、発注時点のものであり、増減が見込まれることに留意すること。

1 ADKP

あかし脱炭素経営パワーアップ制度の略。制度の概要は以下の通り。

- ・脱炭素経営に意欲的な市内事業者は、脱炭素経営宣言を行い、取組内容を明確化する。
- ・脱炭素経営宣言をした事業者に対し、サポーターが連携して、各事業者の取組段階（知る・測る・減らす）やニーズに応じて適切な支援を行い、脱炭素経営の実践を切れ目なく伴走支援する。

詳細については以下のURL（市ホームページ）を参照。

https://www.city.akashi.lg.jp/kankyou/kankyou_souzou_ka/cnkeieisien.html

2 宣言事業者（117事業者）

脱炭素経営宣言を行い、ADKPに参画した事業者。

3 サポーター（31事業者）

宣言事業者へ脱炭素経営に関する支援メニューの提供者。金融機関や支援機関等で構成されている。

4 市内事業者

宣言事業者だけではなく、市内に本店、支店、事務所等の活動拠点を有し、事業活動を行う事業者

5 コーディネート

宣言事業者の脱炭素経営に係る課題・ニーズを分析した上で、宣言事業者とサポーターとの間で、「サポーターの紹介」、「初期調整」、「進行管理」、「フォローアップ」を行う一連の業務をいう。

第1到達点：サポーターへの初回面談設定まで

第2到達点：宣言事業者とサポーター間での支援の合意まで

第3到達点：支援実施後の効果確認（省エネ・コスト削減等の数値把握）まで

6 マッチング

支援メニューのステップごとに、コーディネート業務が以下の到達点に至ったものとする。

- ・ステップ「知る」：第3到達点
- ・ステップ「測る」：第2到達点
- ・ステップ「減らす」：第2到達点
- ・複数のステップを含む支援メニュー：第2到達点
- ・「知る」「測る」「減らす」以外で脱炭素経営の課題改善に繋がる支援メニュー：第2到達点

7 交流イベント

- ・市内事業者が抱える課題を踏まえ、脱炭素経営の重要性の理解促進と実践を後押しする交流イベント
- ・市内事業者に対してサポーターが支援メニューをPRできる機会。
- ・実施回数については、最低1回は実施するが、複数回に分けて実施しても可能。
- ・定員については、イベントの内容を踏まえて設定可能。上限、下限は設けない。

8 定例会

運営会議（用語9）とサポーターミーティング（用語10）の総称

9 運営会議

概要：市と一部の主要サポーター（5団体程度）の会議

内容：ADKPの制度運用に関する課題解決の模索、取り組むべき方向性等の検討、後述のサポーターミーティングの報告等

規模：10～20名程度

場所：未定。令和7年度は明石市役所内会議室にて実施

形式：対面+オンラインのハイブリッド

10 サポーターミーティング

概要：市とサポーターとの全体会議

内容：ADKPの実施状況等の市からの報告、サポーターへの研修、座談会、ワークショップ等

規模：30～40名程度

場所：未定。（令和7年度は明石商工会議所7階ホールにて実施）

形式：対面